職工長復職の爲めに
熱田兵器工起つ
昨日大會を開いて決議
實行委員上京す

向上會名古屋支部員五百餘名は二十四日突如解職された熱田兵器廠職工長大山兼五郎氏の爲め大阪本部から向上會會長八木信一氏を聘し大山

職工長 復職運動に着手すべく其第一歩として二十六日正午から熱田東町大藥師堂に臨時大會を開いた、集まるもの五百餘名開會前既に白熱し頗る緊張味を見せて居た、西浦支部長以下松島、藤又、小川、大野、岩田の六氏を實行委員に擧げ大阪本部の八木會長外數名と共に上京し東京砲兵工廠提理に對し大山職工長の

復職を 迫り若し容れられざる時は直接陸軍大臣に面會し飽迄我等の主張を貫徹すべく

一、我國勞働界に一大汚點を印する熱田兵器廠大山職工長解職に就き飽く迄復職を期す

一、官業勞働者に極度の壓迫を加ふる熱田兵器廠の反省を促す

右の決議を爲し尙八木會長、[illegible]小林、橋川氏

熱辯を 揮ひ次いで[illegible]の五分間演說あり最後に二十七日から各所に大演說會を催すことに決定して午後四時散會した（名古屋電話）

熱田應援決議
向上會の總會

大阪砲兵工廠職工を以て組織する向上會大阪支部臨時總會は二十六日午後一時より城東旭座に開會約五百名の職工出席、議事に入り左の決議案を可決直に陸軍大臣及び東京砲兵工廠提理に電送した（大阪電話）

決議

一、吾等は大山職工長の復職を期す

一、吾等は熱田兵器製造所長の猛省を促す

一、吾等は死力を盡して名古屋支部を擁護す

熱田兵器所騷ぐ
大阪向上會に屬する三百名
所長近藤大佐が壓迫するので

【名古屋電話】東京砲兵工廠熱田兵器製造所職工一千二百名中大阪砲兵工廠の勞働團體向上會に入會せるもの三百名あるが、所長近藤大佐は向上會を嫌ひ入會職工に[illegible]し壓迫の態度を示すので職工中反抗氣分を釀くものあり廿一日來所内に貼紙あり職工集會所に集まつて善後策を議してゐるが名古屋憲兵隊は二十四日何事か起らん[illegible]職を始めたから之を動機に一騷ぎ起るやも知れぬ

熱田兵器の委員陸相に迫らん
大阪向上會の代表も加はる
◇職工長の復職を期して

名古屋熱田兵器製造所職工長大山兼五郎氏が罷免されたる爲め同所職工向上會事務員約三百名は二十六日正午から南區東町大藥師堂に

集合し 大阪向上會長八木信一氏も參加の上善後策を協議し、大山氏の復職を期し、同製造所の反省を促す意味の決議をなし六名の實行委員を擧げたるが、委員連は大阪本部の委員三名と共に近く上京し、陸軍大臣に陳情して飽迄初志の貫徹に努むべしと（名古屋電話）

示威行列は止め
演說會ばかりを
今夜大藥師で開く
熱田兵器所の向上會員 署長の懇談を容れ

名古屋市南區熱田東町大藥師堂で二十六日大會を開き氣勢を揚げた熱田兵器製造所に屬する向上會員は同夜直に委員會を開き來名中の八木部長の同意を得て大阪本部に打電し本部委員、[illegible]永、内藤、丹羽、松下の五氏の來援を求め二十八日午後六時三十分から大藥師で大演說會を開き更に同夜一大示威行列に出る事を決議し[illegible]に於て所轄熱田署へ示威行列に關する[illegible]を申込んだが同署では[illegible]から狼狽し[illegible]向上會の夜間に行列を行ひ氣勢を揚げるは向上會には寧ろ前途の爲めに面白からぬ結果を生ずるに至るやも知れずとて懇談があつた結局委員連は長島署長の意を諒して示威行列は中止し演說會のみを行ふ事になつたが之れに就て長島署長は語る「當署としては向上會幹部の人格を充分信用して居るから示威行列を行ふ事は決して[illegible]と認めて居ない唯一面不測の事で他の衝突か加はる[illegible]があるので幹部と協議をすると當方の意見を諒解して先方から自發的に中止して呉れたのは喜ばしい、今後の取締方針に就ては勿論寛大であるべき筈だが臨機應變の處置に出づる事は免れ難い」

憲兵隊に
諒解を求める
八木向上會長
出頭して陳述

熱田兵器製造所に起つた職工長復職問題のため二十六日來名した大阪向上會長八木信一氏外理事五名は二十七日午前十一時頃名古屋憲兵隊に出頭し大橋隊長に面會して今回の勞働爭議の顛末を物語ると共に兵器製造所の向上會員が今後目的貫徹のために開催する演說會に關し憲兵隊側の諒解を求むるため種々陳述して歸つた右につき大橋憲兵隊長は語る「八木向上會長外數名が當憲兵隊に來た事は事實であるが別に變つた事でもな[illegible]、熱田兵器製造所に起つた例の職工の問題に就て彼等が演說會を開くさうで夫れに就き關係ある憲兵隊に其主旨等を陳述に來た樣な譯である」云々

終つて餘興に移つたが

慰安の

お父さんなる殘櫻會員に手を引かれた又は[illegible]父さんの手を引いた坊ちやん孃さん方が定刻前に詰めかけて來る、東京に於る會員五百廿七名の臨席會員三百四十二名、是に家族連を加へて仲々盛んであつた、[illegible]陸軍布敎師でシベリアに出征した事のあると云ふ

增上寺 の桑原隨旭師の講話があつて後、是も明治廿八年頃は兵隊さんだつたと云ふ桃川若

大山職工長を
馘首早々
復職させるは
困難な話だ
近藤熱田兵器所長談

大阪より來援中の向上會長八木氏以下五名は二十七日午前十一時から熱田兵器製造所に所長近藤大佐を訪ひ大山職工長の復職に付折衝する處あつたが近藤大佐は語る「當所としては別に向上會だからと云ふ[illegible]で馘首するのでは無く只一作業員として扱つたに過ぎぬ復職問題に就ては未だ馘首して間もない事だから復職さし